

総合診療科

■ スタッフ

科長		竹村 洋典
医師	常勤	6名
	非常勤	2名

■ 特色・診療対象疾患

1. 当科の特色

地域の住民が健康で豊かな生活を送ることを目指し、臓器にかかわらず様々な身体や心の問題に対して診療することにより、患者中心の医療を提供するようにつとめました。様々な職種のスタッフとの協働体制をとっています。そして総合診療の経験豊かな教員スタッフと教員スタッフの指導の下、学生・研修医も真摯に診療しました。

2. 主な診療対象疾患

○かぜ、頭痛、めまいなど、日常でよく起こりうる病気や症状がある方の診療

○様々な疾患をもったり、問題が多臓器に及んだりするため、一つの科だけでは診られない方の診療

○不明熱、原因不明の検査異常など他の医療機関や他の専門科で診断・治療が難しい方の診療

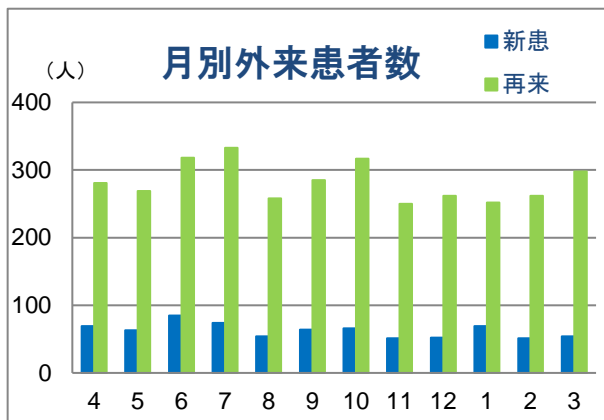
○精神科での治療が必要でないうつ病などの心の問題のある方の診療

○大学病院でないと出来ない健診・検診業務

■ 活動実績

診療患者数は、別表の通り推移しています。

昨年度までと同じく、複数・多領域にまたがる症例を継続的に診療することが多かったが、最近では、近隣医療機関からの診断に難渋する例の紹介も増えてきている状況にあります。



1. 治療実績

○かぜ、頭痛、めまいなど日常でよく起こりうる病気や症状

○どこに受診したらよいかわからない症状

○身体の問題をもちながら心の問題ももつ疾患

○他の医療機関や他の専門科で原因がわからない症状

○入学や入社などに必要な健康診断

2. 教育活動の実績

教育・研修

1. 卒前医学教育

(1) 医療と社会 (医学科 1 年生)・地域基盤型保健医療教育 (医学科 1, 2 年生)

(2) 研究室研修 (医学科 3-4 年生)

(3) 基本的技能臨床教育 (医療面接など)

(4) チュートリアル

(5) クリニカルクラークシップ (家庭医療・地域医療) (医学科 4-5 年生)

(6) 臨床実習 (家庭医療選択) (医学科 6 年生)

(7) 感染症レクチャーシリーズ

(8) 多職種の学生による多職種連携教育

2. 卒後臨床研修

(1) 初期研修

(2) 家庭医療・総合診療後期研修

(3) 基幹病院での出張研修医教育

3. 大学院教育

(1) 修士課程 (家庭医療・地域医療)

(2) 博士課程 (家庭医療・地域医療)

4. 地域の医師向け生涯教育

5. 市民向けワークショップ

6. 多職種連携教育

3. 臨床研究等の実績

1. 出版 (書籍)

- ・ 湯浅美鈴: 第 4 章 治療のケアのゴールを話し合う 望んでいる療養の場所. In: 木澤義之、山本亮、浜野淳 (編). いのちの終わりにどうかかわるか. 医学書院, 東京. 2017.
- ・ 洪英在: In: 木澤義之、山本亮、浜野淳 (編). いのちの終わりにどうかかわるか. 医学書院, 東京. 2017.
- ・ 奥村圭子: 健康で自立している高齢者にも低栄養は起こる!. In: 吉田貞夫. 高齢者を低栄養にしない 20 のアプローチ. メディカ出版, 大阪. 2017.
- ・ 鶴岡優子, 小津美智子, 寺本千秋, 塩野崎淳子, 横山雄士, 篠原弓月, 豊田義貞, 奥村圭子: あなたが困っていたら、誰に相談する?.

In: 古屋聡. 多職種で取り組む食支援. 南山堂, 東京. 2017.

- ・ 洪英在. In: 古屋聡 (編著). 多職種で取り組む食支援 急性期から看取りまで. 南山堂, 東京. 2017.

2. 原著論文 (学会誌, 総説含む)

国際誌

- ・ Yorifuji T, Sato T, Yoneda T, Kishida Y, Yamamoto S, Sakai T, Sashiyama H, Takahashi S, Orui H, Kato D, Hasegawa T, Suzuki Y, Okamoto M, Hayashi H, Suganami S. Disease and injury trends among evacuees in a shelter located at the epicenter of the 2016 Kumamoto earthquakes, Japan. *Arch Environ Occup Health* 2017. doi: 10.1080/19338244.2017.1343238.
- ・ Ie K, Akiko M, Tahara M, Komiyama M, Shuhei I, Takemura YC, Onishi H. What determines medical students' career preference for general practice residency training?: a multicenter survey in Japan. *Asia Pac Fam Med* 2018; 17.
- ・ Tanizaki R, Takemura Y. Anterior cutaneous nerve entrapment syndrome with pain present only during Carnett's sign testing: a case report. *BMC Res Notes* 2017; 10. doi: 10.1186/s13104-017-2816-1
- ・ Takamura A. et al. Diagnosis of Myxedema coma complicated with renal failure: a case report. *Clinical Case Reports* 2017; 5: 399-402. doi: 10.1002/ccr3.850
- ・ Takamura A. Misaki H. Takemura Y. Community and Interns' perspectives on community-participatory medical education ~From passive to active participation~. *Family Medicine* 2017; 49: 507-513.
- ・ Mori Y, Itoi T, Baron TH, Takada T, Strasberg SM, Pitt HA, Ukai T, Shikata S, et al. TG18 management strategies for gallbladder drainage in patients with acute cholecystitis: Updated Tokyo Guidelines 2018 (with videos). *J Hepatobiliary Pancreat Sci* 2017. doi: 10.1002/jhbp.504
- ・ Mukai S, Itoi T, Baron TH, Takada T, Strasberg SM, Pitt HA, Ukai T, Shikata S, et al. Indications and techniques of biliary drainage for acute cholangitis in updated Tokyo guidelines 2018. *J Hepatobiliary Pancreat Sci* 2017. doi: 10.1002/jhbp.496
- ・ Okamoto K, Suzuki K, Takada T, Strasberg SM, Shikata S, Noguchi Y, Ukai T, et al. Tokyo Guidelines 2018 flowchart for the management of acute cholecystitis. *J Hepatobiliary Pancreat Sci* 2017. doi: 10.1002/jhbp.516
- ・ Yokoe M, Hata J, Takada T, Strasberg SM, Asbun HJ, Shikata S, Ukai T, et al. Tokyo Guidelines 2018 diagnostic criteria and severity grading of acute cholecystitis (with videos). *J Hepatobiliary Pancreat Sci* 2017. doi: 10.1002/jhbp.515
- ・ Tokudome Y, Okumura K, Kumagai Y, Hirano H, Kim H, Morishita S, Watanabe Y. Development of the Japanese version of the Council on Nutrition Appetite Questionnaire and its simplified versions, and evaluation of their reliability, validity, and reproducibility. *Journal of Epidemiology* 2017; 27: 524-530.
- ・ Tanizaki R, Hashimoto S, Takemura Y. Bucillamine-induced Yellow Nail Syndrome. *Journal of General and Family Medicine* 2017. doi: 10.1002/jgf2.124
- ・ Haruta J, Yoshida K, Goto M, Yoshimoto H, Ichikawa S, Mori Y, Yoshimi K, Otuska M. Development of an interprofessional competency framework in Japan. *Journal of Interprofessional Care* 2018. DOI: 10.1080/13561820.2018.1426559
- ・ T Seta, Y Takahashi, Y Noguchi, S Shikata, et al. Effectiveness of Helicobacter pylori eradication in the prevention of primary gastric cancer in healthy asymptomatic people: A systematic review and meta-analysis comparing risk ratio with risk difference. *PLoS One* 2017; 12.
- ・ Ukai T, Shikata S, Nakayama T, Takemura Y. A comparison of the results of prospective and retrospective cohort studies in digestive Surgery. *Surgery Today* 2017; 47: 789-794. doi: 10.1007/s00595-017-1479-9

和文誌

- ・ 山路由美子, 市川周平, 竹村洋典. 我が国に

おける在宅高齢者への服薬関与の状況と課題に関する文献の検討. 日本プライマリ・ケア連合学会誌 2017; 40: 136-142.

3. 原著論文以外（商業誌，総説含む）
- ・ Kato, Daisuke, Kenya Ie. Comments on" comparing a longitudinal integrated clerkship with traditional hospital-based rotations in a rural setting". Medical teacher 2017; 39. doi: 10.1080/0142159X.2017.1337881.
 - ・ 田口智博. 第3回コーチング：『よりよい医療現場づくりのヒント～実践！臨床コーチング』～卓越した成果をもたらすチームを作り上げる「チームコーチング」―「私」から「私たち」へと意識を変える～. ベーリンガープラス医療従事者向けサイト 医療 × 経営 MBA 流クリニック経営 2017.
 - ・ 加藤大祐, 片岡裕貴. 第3回 系統的知識がない～真に必要な知識とは何か. 総合診療のGノート 2017; 4: 1340-1345.
 - ・ 洪 英在. なるほど！使える！在宅医療のお役立ちワザ 第14回 訪問管理栄養士と連携しよう！. 総合診療のGノート 2017; 4: 830-835.
 - ・ 小林真理子, 大久保幸世, 杉本典子, 吉村恵美, 若林千秋, 池田道智江, 澁谷咲子, 四方哲. 医療関連感染予防のための手指衛生に関する教育効果. 第47回日本看護学会論文集ヘルスプロモーション 2017; .
 - ・ 奥村圭子. 管理栄養士が行う退院支援. 日在医会誌 2017; 19: 62-63.
 - ・ 四方哲. 経験と記憶、患者満足度について. 日本プライマリ・ケア連合学会誌 2017; 40.
 - ・ 谷崎隆太郎. プロからプロへ：国内における梅毒治療法と感染拡大の防止策（西島健→谷崎隆太郎）. 日本医事新報 2017.
 - ・ 田口智博. コーチングを活用して自己実現する：セルフコーチング. 日本放射線技術学会関東支部雑誌 2017.
4. 国内学会・研究会発表（口述，ポスターを含む）
- ・ 西川潤子, 王桂鳳, 山路由実子, 菅原秀二, 藤原芳朗: 若年性認知症サロン「家族みまん。」の活動からみえてきたもの 利用者、家族、ボランティアの意識調査を通して. 第18回日本認知症ケア学会 2017, 那覇.
 - ・ 奥村圭子, 森亮太 : 栄養ケア・ステーションの役割と機能についての検証. 第19回日本在宅医学会 2017, 名古屋.
 - ・ 市川周平: 中断時系列分析の書き方. 第31回臨床疫学研究における報告の質向上のための統計学の研究会 2017, 東京.
 - ・ 上垣内隆文, 四方哲: 救急隊と直通ホットライン開設による効果の事後検証. 三重県地域包括ケア推進セミナー・第34回三重県地域医学研究会 2017, 三重.
 - ・ 田口智博: メディカルチームコーチングプログラムの開発とその効果の検証～第3報. 第19回日本医療マネジメント学会学術総会 2017, 仙台.
 - ・ 洪英在, 四方哲, 澁谷咲子: 医師が流動的であっても、在宅医療の質を担保するためのシステム構築に関する考察. 第19回日本在宅医学会大会 2017, 名古屋.
 - ・ 上田加奈子, 鎌田隆広, 洪英在, 澁谷咲子, 四方哲: 調剤薬局との薬薬連携を用いた訪問薬剤指導体制の構築の取り組み. 第19回日本在宅医学会大会 2017, 名古屋.
 - ・ 湯浅美鈴, 若林英樹, 関本美穂, 竹村洋典: 在宅高齢者の住変時治療の選択を支える「治療選択サポートビデオ」の作製. 第22回日本緩和医療学会学術大会 2017, 横浜.
 - ・ 若林千秋, 宮崎由美子, 藤田直美, 吉村恵美, 大久保幸世, 門脇由香, 澁谷咲子, 四方哲: 病棟看護師による退院支援のためのマニュアル作成と運用. 第48回日本看護学会・看護管理・学術集会 2017, 札幌.
 - ・ 家研也, 市川周平, 他: 医学部6年次生の専門科選択に関わる因子の検討: JMECS study 二次解析. 第49回日本医学教育学会 2017, 札幌.
 - ・ 小宮山学, 家研也, 市川周平, 他: 医学部6年次生の診療専門家選択に関する基礎資料 JMECS study 記述統計. 第49回日本医学教育学会 2017, 札幌.
 - ・ 田原正夫, 家研也, 市川周平, 他: 将来のキャリアに研究や教育を志望する医学部6年次生についての検討 - JMECS study 二次解析. 第49回日本医学教育学会 2017, 札幌.
 - ・ 村田明子, 家研也, 市川周平, 他: 医学部6年次生の志向性・専門科選択への性差の影響: JMECS study 二次解析. 第49回日本医学教育学会 2017, 札幌.
 - ・ 田口智博, 他 10名: メディカルチームコーチ

- ングプログラムの開発とその効果の検証～第4報. 第49回日本医学教育学会 2017, 札幌.
- ・ 近藤諭, 竹村洋典: 地域基盤型医学教育のための家庭医療/総合診療科クリニカル・ワークショップのルーブリック作成. 第49回日本医学教育学会大会 2017, 札幌.
 - ・ 松本暁子, 野尻光子, 若林千秋, 澁谷咲子, 洪英在, 四方哲: 交番の警察官を含む多職種の支援により認知症の療養者が自宅で生活できた一事例. 第56回全国自治体病院学会 2017, 千葉.
 - ・ 竹田啓, 岩佐紘, 矢澤真希, 若林さおり, 桜井エミ: 医師、看護師、リハビリテーション療法士、栄養士、ソーシャルワーカー、保健師で行っている多職種カンファレンスの意義と課題. 第56回全国自治体病院学会 2017, 千葉.
 - ・ 門脇由香, 野田里美, 野尻光子, 若林千秋, 澁谷咲子, 洪英在, 四方哲: 治療を拒否して退院したが、自宅で満足のいく最後を迎える事が出来た一例. 第56回全国自治体病院学会 2017, 千葉.
 - ・ 近藤諭, 竹村洋典, 三重大学家庭医療学プログラム一同: 会議の予定外延長を防ぐには? ～KPTは楽だが役に立つ!～. 第6回JPCA中部ブロック支部学術集会 2017, 名古屋.
 - ・ 彼末吉世子, 田口智博: 質的研究を用いた医療従事者向けチームコーチングプログラムの発展. 第7回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2017, 東京.
 - ・ Marinda Asiah Nuril Haya: A case study on Indonesian nurse in Japan's long term care: Motivation-driven work cannot last without appropriate support. 第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2017, 高松.
 - ・ 大原昂洋, 彼末吉世子, 藤井健斗, 市川周平, 後藤道子, 家研也, 北村大, 田口智博, 竹村洋典: 質的研究を用いた医療従事者向けチームコーチングプログラムの発展. 第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2017, 高松.
 - ・ 愛知千明, 市川周平, 田口智博, 竹村洋典: 質的研究を用いた医療従事者向けチームコーチングプログラムの発展. 第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2017, 高松.
 - ・ 遠藤聡恵, 吉村恵美, 池田道智江, 若林千秋, 澁谷咲子, 四方哲: 糖尿病教室の改良とその効果. 第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2017, 高松.
 - ・ 加藤大祐, 小林直子, 荒川美緒, 桑名梨里子, 増山由紀子, 葛西龍樹: 日英プライマリ・ケア交換留学プログラム ～留学後アンケートから見えてきた参加者の学びと気づき～. 第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2017, 高松.
 - ・ 橋本修嗣: 胃瘻チューブによるボールバルブ症候群が食道びらんを生じ吐血を併発した1例. 第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2017, 高松.
 - ・ 近藤誠吾, 小掠友美, 大久保幸世, 渡辺光, 四方哲, 竹村洋典: 鼠径部採血を行うとコンタミネーションは増加するのか?. 第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2017, 高松.
 - ・ 後藤道子: 地域を基盤とした多大学協働による多職種連携のための one-day ワークショップ IDT-MIE の活動報告. 第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2017, 高松.
 - ・ 御前秀和: 喫煙指導と患者中心性についての社会的側面の考察. 第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2017, 高松.
 - ・ 江角悠太: 地域の一時的救急を救うために立ち上がった学生団体「しまうま」. 第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2017, 高松.
 - ・ 今藤誠俊, 吉田伸, 杉谷真季, 小林直子, 加藤大祐: Family Medicine360° によるフランス家庭医療専攻医の研修受け入れ報告(活動報告). 第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2017, 高松.
 - ・ 山口高史, 小川貴大, 山田冬樹, 市川周平, 若林英樹, 竹村洋典: 三重大学の医学生が三重県での勤務を志望することに関わる因子の検討. 第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2017, 高松.
 - ・ 山添紗希, 森洋樹, 宮真里, 市川周平, 田口智博, 竹村洋典: 早期医療体験実習プログラムによる医学生のプロフェッショナルリズムに対する理解と興味の変化についての研究. 第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2017, 高松.
 - ・ 四方哲, 澁谷咲子, 竹村洋典: 小規模公立病院における研究推進システムの構築とその成果. 第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2017, 高松.

- ・ 市川周平,北村大,竹村洋典: プライマリ・ケア医が患者の仕事に関する情報を聴取することに影響する要因の検討: 横断研究. 第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2017, 高松.
 - ・ 志田幸太: 診療所における診療の質改善プロジェクト: JPCAT を用いて患者中心性の質を評価、改善する. 第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2017, 高松.
 - ・ 森洋平: 「多職種連携」「BPS モデル」を主テーマとした PBL 教材開発とパイロット版実施の報告. 第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2017, 高松.
 - ・ 西田安紀子, 澁谷咲子, 四方哲, 西田智珠, 竹村洋典: 医療過疎地域におけるナースプラクティショナー (NP) 活動のメリット・デメリットと展望. 第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2017, 高松.
 - ・ 西田智珠, 西田安紀子, 澁谷咲子, 四方哲, 竹村洋典: プライマリ・ケアエキスパートナース育成プログラム開発における病棟看護師の現状と課題. 第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2017, 高松.
 - ・ 石谷健人, 足立裕次郎, 宮真里, 市川周平, 田口智博, 竹村洋典: 早期医療体験実習で医学生への患者中心の医療に対する認識と興味はどの程度、どのように、なぜ変化するのか?. 第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2017, 高松.
 - ・ 谷崎隆太郎: カーネット微候のみ陽性のため3年間未診断で経過した前皮神経絞反扼症候群の1例. 第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2017, 高松.
 - ・ 竹村洋典: あなたもできる! 日頃の疑問を質的研究で解決! (学会誌(和文)編集委員会企画). 第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2017, 高松.
 - ・ 鶴田真三, 四方哲, 洪英在, 矢部千鶴, 和田健治, 近藤誠吾, 大屋正樹, 渡辺光, 竹村洋典: 誤嚥性肺炎患者における嚥下造影検査の有効性の検証. 第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2017, 高松.
 - ・ 北村大,市川周平,竹村洋典: プライマリ・ケア医の産業医との連携における課題の質的評価. 第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2017, 高松.
 - ・ 矢部千鶴: 「総合診療医」が生き残るためにシーズン3～勤務スタイルの多様性受容の class up を目指して～ ” 家庭医としての私、親としての私、私としての私”. 第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 2017, 高松.
 - ・ 湯浅美鈴, 若林英樹, 山田宇以, 鈴木美砂子, 中富尚宏: 家族療法による介入で右顔面しびれが改善した症例. 日本家族研究・家族療法学会第34回つくば大会 2017, つくば.
 - ・ 北村大, 市川周平, 竹村洋典: 主治医側の産業医との連携に関する認識と疾患ごとの実際の連携、そのギャップの背景. 日本産業衛生学会第90回学術集会 2017, 東京.
 - ・ 市川周平, 北村大, 竹村洋典: 主治医は産業医との連携をどう認識しているか?. 日本産業衛生学会第90回学術集会 2017, 東京.
5. 海外学会・研究会発表 (口述, ポスターを含む)
- ・ Ichikawa S, Kae Uetani, Yoshihito Goto, Takanori Fujita: Readability of open access and non-open access articles in primary health care: a cross-sectional study. 8th International Congress on Peer Review and Scientific Publication 2017, Chicago, USA.
 - ・ Nakata K, Shikata S, Otuska T, Ukai T, Mori Y, Miyasaka Y, Nakamura M: Meta-analysis of spleen preservation vs splenectomy during distal pancreatectomy. Joint congress of the 6th A-PHPBA and 29th JSHPBS 2017, Yokohama.
 - ・ Goto M, Kondo S, Yoshida K, Ichikawa S, Tsujikawa M, Takemura Y: Influence of Community-based Collaborative Clinical Clerkship on student's degree of understanding of interprofessional collaboration. WONCA Asia pacific regional conference 2017, Pattaya, Thailand.
 - ・ Ichikawa S, Kitamura M, Takemura Y: Clustering primary care physicians by recognized necessities and actual collaborations with worksites of their patients: cross-sectional study. WONCA Asia pacific regional conference 2017, Pattaya, Thailand.
 - ・ Kitamura M, Ichikawa S, Takemura Y: Development of Education Support Tools for Primary Care Physicians to Promote Collaboration with Occupational

- Physicians. WONCA Asia pacific regional conference 2017, Pattaya, Thailand.
- ・ Shikata S, Shibuya S, Isoda S, Takemura Y: Walking club in rural small hospital improve QOL. WONCA Asia pacific regional conference 2017, Pattaya, Thailand.
 - ・ Hashimoto S, Shikata S, Takemura Y: The change of the hospital selection after implementing the direct phone system with regional emergency medical services. WONCA Asia pacific regional conference 2017, Pattaya, Thailand.
 - ・ Yoshida S, Kondo M, Kato D, Sakai Y, Ryu H: How Encourage the Young Doctors Movement within Asia Pacific Countries. WONCA Asia Pacific Regional conference 2017, Pattaya, Thailand.
6. ワークショップ, 講演会講師, その他 (新聞掲載, テレビ出演等)
- ・ 海道利実, 加藤大祐, 阿部計大, 三島千明, 西川佳孝, 柴田綾子, 森本佳奈, 飯田康: 英語論文作成とプレゼンテーションのコツ. ACP 日本支部年次総会, 2017, 京都.
 - ・ 田口智博: 患者さんとのコミュニケーションのコツ～ラポールと傾聴・承認～. HD Staff Advance Seminar, 2017, 名古屋.
 - ・ 田口智博: 実践! コーチングセミナー～訊き方次第で患者さんの行動が変わる; 質問とGROWモデル～. HD Staff Advance Seminar, 2017, 名古屋.
 - ・ 三島千明, 柴田淳平, 佐藤峰嘉, 加藤大祐, 柴田綾子, 園田健人, 濱田祥生, 大橋文香, 岩瀬翔: サー・マイケル・マーモット先生との特別教室. JMA-JDN セミナー SDH と健康格差, 2017, 東京.
 - ・ Shin Yoshida, Kondo Masatoshi, Daisuke Kato, Yuki Sakai, Hikohaku Ryu: The Rajakumar Movement WONCA OPENING WORKSHOP. WONCA Asia Pacific Regional conference, 2017, Pattaya, Thailand.
 - ・ 近藤誠吾, 二本松綾乃, 中井祐樹, 子幡真奈美, 三河内伸一郎, 田辺貴行: メディカルラリーで優勝 名張市チーム2年ぶり2回目. 朝日新聞, 2017.
 - ・ 奥村圭子: 血糖値をはかるランチ会 (バランスの良いお食事) で糖尿病とフレイルを予防しよう). 大塚製薬工場株式会社, 2017, 鳴門.
 - ・ 湯浅美鈴: 緩和ケア講習会 PEACE, 2017, 津.
 - ・ 三浦久幸, 和田忠, 奥村圭子: 管理栄養士が行う退院支援. 第19回日本在宅医学会, 2017, 名古屋.
 - ・ 奥村圭子: 大府市の健康寿命延伸への挑戦. 知多半島健康寿命延伸セミナー, 2017, 大府.
 - ・ 奥村圭子: 健康寿命の延伸と食の支援. 地方から考える社会保障フォーラム, 2017, 東京.
 - ・ 田口智博, 他1名: 「コーチングセミナー」～メンバー全員が結果にコミットする～. とっとり総合診療まつり, 2018, 鳥取.
 - ・ 奥村圭子: 地域での栄養支援活動の実践. 豊川保健所内蒲郡栄養士会, 2017, 蒲郡.
 - ・ 奥村圭子: 在宅になぜ栄養士が必要か. 名古屋学芸大学, 2017, 日進.
 - ・ 奥村圭子: 大府市の健康寿命延伸への挑戦. 半田市管内栄養士会, 2017, 半田.
 - ・ 近藤誠吾, 二本松綾乃, 中井祐樹, 子幡真奈美, 三河内伸一郎, 田辺貴行: 救急医療 磨いたチームワーク 競技会で優勝 市立病院の医師ら6人. 毎日新聞, 2017.
 - ・ 近藤誠吾, 二本松綾乃, 中井祐樹, 子幡真奈美, 三河内伸一郎, 田辺貴行: チーム「心」はしご車で救助 総合防災訓練 市立病院医師ら 巨大地震を想定. 毎日新聞, 2017.
 - ・ 近藤誠吾, 二本松綾乃, 中井祐樹, 子幡真奈美, 三河内伸一郎, 田辺貴行: 名張チーム2回目V 救急活動技量コンテスト. 読売新聞, 2017.
 - ・ 田口智博: 実践! コーチングセミナー～セルフコーチングを活用したりフレクシオンとモチベーションアップ～. 愛知岐阜・独立行政法人国立病院機構 看護師研修, 2017, 名古屋.
 - ・ 湯浅美鈴: 患者の意向を尊重した意思決定のための研修会, 2017, 名古屋.
 - ・ 田口智博: コーチング研修. 岐阜大学医学部附属病院看護部, 2017, 岐阜.
 - ・ 田口智博: コーチングを使った医学教育. 研修指導医向けFD会 in 川崎医科大学総合医療センター, 2017, 岡山.
 - ・ 田口智博: 実践! コーチングセミナー～聴き方訊き方次第で診療・教育・組織が変わる～. 桜山若手医師勉強会, 2017, 名古屋.
 - ・ 田口智博: コーチングセミナー. 三重県看護

- 協会看護実践研修, 2017, 津.
- ・ 田口智博: メンタリングとコーチング、チームコーチング. 三重大学大学院 総合診療のための PhD コース, アカデミック GP 教育コース 医学教育学, 2017, 津.
- ・ 田口智博: 健康増進と予防. 三重大学大学院 総合診療のための PhD コースアカデミック GP 教育コース 総合診療医学, 2017, 津.
- ・ 田口智博: コーチングを活用したメンタリング (実践編) ～面談の目標やプロセスを意識して成果を上げる～. 聖路加国際病院, 2017, 東京.
- ・ 近藤諭, 田口智博: 総合診療カンファレンス. 総合診療セミナー in 三重, 2017, 津.
- ・ 田口智博: 実践 コーチングセミナー～聴き方訊き方次第で診療・教育・組織が変わる～. 大阪家庭医療センター, 2017, 大阪.
- ・ 田口智博、他 3 名: チーム医療を推進するメディカルチームコーチング～卓越した成果創りにチャレンジする～. 第 12 回日本臨床コーチング研究会総会・学術集会, 2017, 佐世保.
- ・ 田口智博、他 3 名: 「メディカルチームコーチング」～メンバー全員が結果にコミットする～. 第 13 回若手医師のための家庭医療学冬期セミナー, 2018, 東京.
- ・ 杉岡隆, 片岡裕貴, 高田俊彦, 高橋世, 西脇宏樹, 添野祥子, 加藤大祐, 草野超夫, 山本舜悟: 臨床研究デザイン道場: 診断の予測指標の作り方を学ぶリターンズ. 第 15 回若手医師のための家庭医療学秋季セミナー, 2017, 大阪(JP).
- ・ 洪英在: チェーンレクチャー 4 在宅における栄養管理のポイント. 第 19 回日本在宅医学会大会, 2017, 名古屋.
- ・ 若林英樹: 在宅医療促進に関連する患者・家族の負担と地域医療・介護体制. 第 24 回ファイザーヘルスリサーチフォーラム, 2017, 東京.
- ・ 近藤諭: もし家庭医療について質問されたら～もしカテ～. 第 29 回学生・研修医のための家庭医療学夏期セミナー, 2017, 近江長浜.
- ・ 近藤諭: 日本でどんな家庭医が育っているの? ～第 6 回! 家庭医療専門医試験を体験する. 第 29 回学生・研修医のための家庭医療学夏期セミナー, 2017, 近江長浜.
- ・ 湯浅美鈴: アメリカの緩和医療を経験して. 第 57 回日本呼吸器学会学術講演会, 2017, 東京.
- ・ 田口智博: 自走するチームを創るチームコーチング～「個人」から「チーム」を対象としたコーチングの時代へ～. 第 67 回医学教育セミナーとワークショップ, 2018, 東京.
- ・ 近藤諭: 学生・研修医×わかつて医師のつどい @高松. 第 8 回日本プライマリ・ケア連合学会学術集会, 2017, 高松.
- ・ Sonia Tsukagoshi, 加藤大祐: 国際キャリア支援委員会企画. 第 8 回日本プライマリ・ケア連合学術大会, 2017, 高松.
- ・ 加藤大祐: 日英プライマリ・ケア交換留学プログラム～留学後アンケートから見えてきた参加者の学びと気づき～. 第 8 回日本プライマリ・ケア連合学術大会, 2017.
- ・ 加藤大祐, 湯浅美鈴, 若林英樹, 鈴木美砂子, 山田宇以, 中富尚宏: 一味ちがう家族志向のケア ～その患者さん、“家族問題”ありませんか?～. 第 8 回日本プライマリ・ケア連合学術大会, 2017, 高松.
- ・ 宮崎景: 診療ガイドライン使いこなし術マスター講座 . 第 8 回日本プライマリ・ケア連合学術大会, 2017.
- ・ 宮崎景: 根拠に基づいた予防医療: 個々の患者に対するアプローチ、地域に対するアプローチ. 第 8 回日本プライマリ・ケア連合学術大会, 2017.
- ・ 宮崎景: Annual Evidence Update in Primary Care. 第 8 回日本プライマリ・ケア連合学術大会, 2017.
- ・ 宮崎景: プライマリ・ケアで EBM を利用する. 第 8 回日本プライマリ・ケア連合学術大会, 2017.
- ・ 近藤諭: 学生・研修医×わかつて医師のつどい @高松. 第 8 回日本プライマリ・ケア連合学術大会, 2017.
- ・ 原田直樹: 若手医師交換留学プログラムのこれまでとこれから. 第 8 回日本プライマリ・ケア連合学術大会, 2017.
- ・ 森洋平: PCFM ネットでノウハウをシェア! -診療所教育の Tips. 第 8 回日本プライマリ・ケア連合学術大会, 2017.
- ・ 田口智博、他 3 名: 実践! コーチングセミナー～聴き方/訊き方次第で診療・教育・組織が変わる～. 第 8 回日本プライマリ・ケア連合学術大会, 2017.
- ・ 内堀善有: 病院総合医に必要とされるコアコンピテンシーについて. 第 8 回日本プライマリ・ケア連合学術大会, 2017.

- ・ 北村大、市川周平、福田洋、竹村洋典: 主治医と産業医とのより良い協力関係を根ざして(公募企画)。第8回日本プライマリ・ケア連合学術大会, 2017.
- ・ 近藤誠吾, 二本松綾乃, 中井祐樹, 子幡真奈美, 三河内伸一郎, 田辺貴行: 名張市チームが優勝 救命救急の技競う「メディカルラリー」2年ぶり2回目. 中日新聞, 2017.
- ・ 近藤諭: 振り返りの達人はポर्टフォリオが得意. 中部ブロック家庭医療専攻医歓迎会, 2017, 名古屋.
- ・ 田口智博: コーチングセミナー. 東京大学公衆衛生大学院 医療コミュニケーション学実習, 2017, 東京.
- ・ 湯浅美鈴: シンポジウム2 エンドオブライフに向けた意思決定プロセス. 日本エンドオブライフケア学会 第1回学術集会, 2017, 東京.
- ・ 田口智博: コーチング入門. 名古屋大学医学部4年生特別講義, 2017, 名古屋.

■ 今後の展望

2018年6月末にての竹村教授の辞職等、諸事情により、2019年3月より診療と教育を縮小しています。今後、新しい体制の確立とともに地域と病院のニーズに応え、総合診療の強みを生かした診療と、学生・研修医への外来診療教育を再開する予定です。皆さまのご理解とご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

<http://www.hosp.mie-u.ac.jp/soshin/>